

# 遠隔臨場実施方法

## (1)適用種別

### 段階確認

種 別	細 別	確認時期項目	施工予定時期
函渠工		埋戻し前	○年○月頃

### 立会

種 別	細 別	確認事項	施工予定時期
砂防堰堤付属物設置工	境界工	境界杭の設置位置	○年○月頃

### 材料確認

材料名	規格	数量	材料確認時期
鉄筋	D13~D22	〇〇.〇t	○年○月頃

## (2)使用機器と仕様

遠隔臨場で使用する動画撮影用カメラとWeb会議システムに係る機器と仕様は次のとおり。

動画撮影用カメラ	項目	仕様
スマートフォン	映像	画素数:1200*700 カラー
		フレームレート:24~60fps
	音声	マイク:モノラル(1チャンネル)
		スピーカー:ステレオ(2チャンネル)

Web会議システム	項目	仕様
Zoomミーティング	通信回線速度	下り最大 50Mbps、上り最大5Mbps 以上
	映像・音声	転送レート(VBR):平均 1Mbps 以上

## (3)段階確認等の実施方法

### 1. 事前準備

#### 【段階確認】

遠隔臨場の実施に先立ち、監督員に実施時間、実施箇所(場所)や必要とする資料等について確認を行う。なお、監督員による確認の実施時間は、監督員の勤務時間内とする。

#### 【立会】

あらかじめ段階確認願、材料検査願及び立会確認願について出来形管理表等の資料を添付のうえ、事前に監督員に提出する。

### 2. 遠隔臨場の実施

「小松市建設現場における遠隔臨場に関する試行要領」に従い、遠隔臨場を実施する。

#### (1)資機材の確認

事前に工事監督員等との双方向通信の状況について確認を行う。また、必要な準備、人員及び資機材等を提供する。

#### (2)現場(臨場)の確認

現場(臨場)における確認箇所の位置関係を把握するため、実施前に現場(臨場)周辺の状況を伝える。

#### (3)実施

「工事名」、「工種」、「確認内容」、「設計値」、「測定値」や「使用材料」等の必要な情報について適宜黒板等を用いて表示する。

撮影にあたり、上記の必要な情報を冒頭で読み上げ、工事監督員等による実施項目の確認を得る。

#### (4)記録と保存

遠隔臨場が行われた記録として、「小松市建設現場における遠隔臨場に関する試行要領」に従いデータを保存する。